

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年6月26日～7月2日)

平成 26 年(2014 年)7 月 4 日

H E A D L I N E S

政治

内閣信任投票後、各党が党議拘束違反の議員を処分
 コモロフスキ大統領がウクライナ、グルジア、モルドバ三カ国の連合協定署名に祝意
 トウスク首相が欧州理事会に出席

経済

大統領が公共財政法の改正法案に署名
 欧州委員会がポーランドの鉄道更新プロジェクトに拠出
 7月の政策金利は2.5%のまま
 5月の失業率は12.5%
 5月の消費は引き続き増加
 新規受注は増加傾向が続く
 6月のPMIは50.3ポイント
 6月の倒産は76件
 5月の輸出は引き続き拡大
 2014年の自動車関連輸出は拡大の見込み
 国内エネルギー企業が共同でR&Dを推進
 PGEが風力発電分野でアルストム社と8.1億ユーロで合意
 政府は、再生可能エネルギーに関する法案を議会に近々提出

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間延長について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先:大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出

政	治
内	政

内閣信任投票後、各党が党議拘束違反の議員を処分【26日・27日】

6月26日、市民プラットフォーム(PO)は、25日の内閣信任投票に欠席したスミルノフ下院議員を除名処分した。同日、みんなの運動(TR)は、内閣

信任投票においてトゥスク政権に信任票を投じたピョントク下院議員を除名処分した。6月27日、「ポーランドと共に」(PR)は、内閣信任投票においてトゥスク政権に信任票を投じたゴドソン同党副党首を除名処分した。

外	交
---	---

トゥスク首相が欧州理事会に出席【26日・27日】

6月26日及び27日、トゥスク首相はベルギーのイーペル及びブリュッセルで開催された欧州理事会に出席した。今次欧州理事会では、EUとモルドバ及びグルジアとの連合協定への署名、EUとウクライナとの連合協定・経済部分への署名が行われた。またEU各国首脳は、ウクライナ情勢に関連して、情勢の展開によっては(更なる)対露制裁を課す可能性があることを示した。

コモロフスキ大統領がウクライナ、グルジア、モルドバ三カ国の連合協定署名に祝意【30日】

6月30日、コモロフスキ大統領は、ポロシェンコ・ウクライナ大統領、マルグヴェラシヴィリ・グルジア大統領及びティモフティ・モルドバ大統領と電話会談を行い、27日の欧州理事会におけるEUと三カ国との連合協定署名(ウクライナは経済部分のみ)に対する祝意を表すると共に、ポーランドが三カ国のEUに接近する取り組みを引き続き支持していくことを伝達した。

経	済
---	---

経済・財政政策

大統領が公共財政法の改正法案に署名【30日】

コモロフスキ大統領は、公的債務残高が対GDP比で上昇した場合に自動的に発動される緊縮財政措置を強化する公共財政法の改正法案に署名し、同法案が発効した。改正公共財政法により、対GDP比50%及び55%で発動される措置が、それぞれ7%ずつ引き下げられた43%及び48%で発動されることとなった。これにより昨年末に実施された公開年金基金(OFE)改革で47%近くまで削減した公的債務残高の対GDP比が再び上昇することを抑止する効果をもたらしている。

購入するもので、もう一つは150の客車の清掃・メンテナンスも含めた更新に関するものとなっている。欧州委員会は、事業費の65%に当たる額を拠出することにしており、前者については1.9億ユーロ、後者については6.5億ユーロを拠出する。それぞれ2013年よりプロジェクトが開始しており、2015年の完了を予定している。

欧州委員会がポーランドの鉄道更新プロジェクトに拠出【1日】

欧州委員会は、ポーランド国内の鉄道近代化に、2.5億ユーロを拠出することを決定した。本プロジェクトは、欧州横断運輸ネットワーク(Trans-European Transport Network: TEN-T)との接続のため、ポーランド南東にあるプシェミスル(Przemysl)から北西部のシュチェチン(Szczecin)をつなぐTLK路線の利便性を向上する2つのプロジェクトが主体。その一つは、新型の車両を20両

7月の政策金利は2.5%のまま【2日】

金融政策委員会(RPP)は、月例会合において7月の基準金利も2.5%とすることを決定した。政策金利は昨年7月に史上最低に利下げされた後、13カ月間維持されることとなった。RPPは、更なる利下げを行わなくとも現在の経済回復基調及び労働市場の改善によりインフレ率は上昇していくと予測しているが、他方で、新規受注、鉱工業生産、小売販売等、多くの分野によって経済回復は鈍化しつつある。中央銀行(NBP)のベルカ総裁は、当初今年後半に予定されていた利上げの可能性はほぼなくなったものの、利下げを行う可能性についても僅かであると述べた。

マクロ経済動向・統計

5月の失業率は12.5%【27日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の失業率は前月の13.0%及び前年同月の13.5%より大幅に

改善された12.5%となった。5月末の登録失業者数は1,986,700人で、新規求人は、前月の102,000人より少なく、前年同月の76,400人より

多い95,900人となっている。266の組織が近い将来、公共部門5,100人を含む22,800人を解雇すると発表している。

5月の消費は引き続き増加【27日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の小売販売は、前年同月比で4月の同8.4%増より増加の割合は減少したものの、3.8%増と引き続き増加している。実質ベースでは4.3%増。前月比では、4月の同2.3%増より減少した2.7%減。

新規受注は増加傾向が続く【27日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の新規受注は、前年同月比で4月の同21.1%増よりは増加の割合は減少したものの8.6%増であった。前月比では、4月の同10.1%増から減少した18.1%減。新規輸出受注は、前年同月比で4月の同7.1%増より更に上昇した7.8%増、前月比で4月の同3.5%減よりさらに低下した7.4%減となっている。

6月のPMIは50.3ポイント【1日】

6月の購買担当者景況指数(PMI)は、5月の50.8ポイントより減少した50.3ポイントとなった。PM

Iの減少は4カ月連続となり、2008年の10カ月連続に次ぐ長さとなっている。最大の要因は新規受注が伸び悩んでいることで、今後の鉱工業生産、更には雇用創出にも影響を与えると予想されている。

6月の倒産は76件【2日】

6月の倒産件数は、前年同月の85件から減少した76件となった。2013年通年の倒産件数は2012年の941件より減少した926件となっていたところ、今年前半の倒産件数も、前年同期の483件から大はばに減少した418件となっている。

5月の輸出は引き続き拡大【2日】

5月の輸出総額は、前年同月比8.5%増、前月比6.4%減となる133億ユーロであった。ズロチ建では前年同月比8.6%増、前月比6.5%減となる555億7千万ズロチ。通年では前年比9.3%増となる1,705億ユーロ、ズロチ建では同7.6%増となる7,047億ズロチとの予測値が出ている。更にユーロ圏及び東方隣国市場が順調に回復すれば、2015年はユーロ建で前年比11.9%増、ズロチ建で同8.4%増となると予想されている。

ポーランド産業動向

2014年の自動車関連輸出は拡大の見込み【27日】

AutomotiveSuppliers.plによれば、2014年第一四半期のポーランド自動車産業の輸出額は、46.6億ユーロで、前年比4.7%の増加となり、3月期のみでは、同9.2%増の16.9億ユーロになった。輸出先としては、78.5%をEU域内向けが占めて

おり、最大の仕向地はドイツであったが、チェコ向けとハンガリー向けの伸びが最も大きかった。輸出額を分野別に見ると、82.3%を自動車部品が占めている。AutomotiveSuppliers.plは、2014年の自動車産業の輸出額は、2013年の輸出額179.1億ユーロを0.98%程度上回る190億~194億ユーロになると見込んでいる。

エネルギー・環境

国内エネルギー企業が共同でR&Dを推進【27日】

ポーランドの大手エネルギー企業、エネア社、エネルギーガ社、PGE社及びタウロン社の4社は、研究開発の分野で協力を行う。共同プロジェクトの目標として、発電における温室効果ガスの排出削減、送電効率の改善と送電・蓄電分野へのインテリジェント技術の導入を掲げている。併せて、ポーランドの学術分野との連携も視野に入れており、これにより、特定の産業分野だけでなく経済全体に裨益することも期待される。

PGEが風力発電分野でアルストム社と8.1億ユーロで合意【27日】

PGEは、アルストム社との間で風力発電所における風力発電設備の調達等に関する契約を締結し

た(アルストム社側は、同社の再生可能エネルギー関連グループ会社によるコンソーシアム)。機材の調達やメンテナンス等のサービスが含まれたもので、総額で8.1億ユーロに達する。調達されるタービンは、3MW級のAlstom EC110型風車を30基、総出力は90MWとなり、ポーランド北部のウィンドファームに導入される。

政府は、再生可能エネルギーに関する法案を議会に近々提出【1日】

経済省は、再生可能エネルギーの2020年におけるエネルギー消費に占める再生可能エネルギー源の割合を15%以上と定めることを盛り込んだ新たな法案を近々議会に提出する。経済省によれば、本法案は欧州委員会による承認が必要な公的支援とは見なされないと見ている。ポーランドでは、2

015年にオークション制度が導入される予定であるが、新制度下においても、現在運用されているグリーン証書制度は引き続き運用される。経済省は、

新制度は主に小規模発電を行う事業者等への支援を目的であるとしている。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間延長について

毎週月曜日の開館時間を19時まで延長しています。火曜日から金曜日までは、従来通り9時から17時までご利用いただけます。

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細: www.japonskiekadry.pl

【開催中】文化ポスター展【6月5日(木)～8月31日(日)】

ワルシャワにて、ワジェンキ宮殿博物館主催で、日本と中国のグラフィックデザイナーによる作品展『文化ポスター展』がオープンエアギャラリーで開催されています。日本からはU.G.サトー氏の作品が展示されています。

開催場所: ワルシャワ, ワジェンキ宮殿博物館, ul. Agrykoli 1

詳細: <http://www.lazienki-krolewskie.pl/en/Cultural-Poster---Jianping-He-and-U.G.-Sato.html>,

<https://www.facebook.com/events/766453450061359/>

【開催中】第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル【6月6日(金)～7月9日(水)】

クラクフにて、クラクフ歌劇場主催による『第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル』が開催されます。7月9日18時半からは、歌舞伎役者の中村吉太郎氏による素浄瑠璃と歌舞伎舞踊の公演が行われます。

開催場所: クラクフ歌劇場, ul. Lubicz 48

詳細: <http://www.opera.krakow.pl/en/news/18th-summer-krakow-opera-festival>

【予定】水曜映画上映会「サウスバウンド」【7月9日(水)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「サウスバウンド」が開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@emb-japan.pl, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】アニマツリ2014【7月11日(金)～13日(日)】

ワルシャワにて、日本の大衆文化愛好家協会「アニマツリ」主催による日本文化紹介イベント『アニマツリ2014』が開催されます。コスプレの他に、日本の伝統的な音楽や踊り、日本に関する講座、ワークショップ、コンテスト等が予定されています。

開催場所：ワルシャワ， Zespól Szkol nr 55, ul. Gwiazdzista 35

詳細：www.animatsuri.pl

【予定】「国境地帯の遺産」セミナー【8月28日(木)～9月6日(土)】

クラクフにて、国際文化センター主催による『「国境地帯の遺産」セミナー』が開催されます。EUIJ 東京コンソシアムの研究者による V4 諸国の国家遺産に関する講座が予定されています。

開催場所：クラクフ，国際文化センター，ul. Rynek Główny 25

詳細：<http://www.mck.krakow.pl/page/wspolpraca-z-japonia>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）